

創立73周年
令和5年度3月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



成長を喜び合う

園長 北村 恵

大きくなるっていうことは 洋服が小さくなるってこと 大きくなるっていうことは 新しい歯が生えてくるってこと(中略)大きくなるっていうことは 高い所から 飛び降りられるってこと それもそうだけど 飛び降りても大丈夫かどうか 考えられるってことも 大きくなるっていうこと(中略)大きくなるっていうことは 自分より小さな人が 多くなるってこと 大きくなるっていうことは 小さな人に 優しくなれるってこと 大きくなるっていうことは そういうこと また一つ大きくなった おめでとう みんな

「おおきくなるっていうことは」(童心社 文 中川ひろたか 絵 村上康成)より
これは、子供たちが好きな絵本の一部です。略した部分にはもっとたくさん、大きくなって嬉しいことが書いてあります。心も身体も大きくなるって本当に素敵なことだな、と大人になっても思える本です。ぜひ、一度読んでみてください。

毎年行っていることではありますが、先日、昼食時に保育室の取り替えっこをしました。年少、年中は一つ上の学年の保育室へ。年長は年少の保育室へ移動します。まずは年長の部屋にいるぱんだ組の様子を見に行きました。すると、なんだかいつもよりシーンとして緊張している様子が見られました。「あら？もうぞう組になったの」というと、何人もの子供たちが「違う！違う！借りてるだけ！今日だけ特別なの！」と、口々に言いますが、昼食の準備もいつもよりさっと済ませて、落ち着いて食べているその顔は、やっぱり少しお兄さんお姉さんになったように見えました。

次にぱんだ組の部屋に見に行くと、年少児が並んでご飯を食べながら「私、今日はぱんだ組みたいに、デザート最後に食べるんだ！」「僕も」「私も！」とっていました。すると、普段、片付けの時間になると「片付けない！」と言うAさんが「ぱんだ組の部屋ってきれいだなー。私も自分の部屋きれいにしよう！」と言うではないですか。誰に言われたわけでもないのに、ひとつ大きくなることを楽しみに、自分なりの目標をもっている姿に嬉しくなりました。

最後に年少の部屋にいるぞう組を見に行くと、小さな机と椅子から体がはみ出して、さらに大きくなったように見えました。「うさぎ組の椅子と机、小さすぎだよ！」と言うので「それだけ、みんなが大きくなったってことだね」と言うので「そっかー」と嬉しそうに笑っていました。食後は大きな体で三輪車を漕いでいる姿がとてもかわいく見えました。

それぞれの学年が、自分が大きくなることを感じられる保育室の取り換えっこの時間が、私は大好きです。今年度も、子供たち一人一人の頑張りやつまづきを保護者の方々と一緒に支え、見守り、成長を喜び合えたことを、心から感謝しています。4月から、進級、入学と新しい一歩を踏み出す子供たちが、新しい環境でも安心して伸び伸びと自己発揮できるよう、残り11日の登園日もたくさん、成長を認め合っていていきたいと思います。